

# 施策分野評価シート

## 1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	7	総合計画の実現に向けて
施策分野	1	協働の推進
10年後のめざす姿	協働が推進され、住民、企業、各種団体、NPO、ボランティアなどと行政が協力し、地域の課題の解決に取り組まれています。	

## 2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
住民提案型協働事業実施団体数	5団体 (令和2年度10月現在)	5団体				7団体 ( )
説明・コメント						-

## 3 予算・決算の状況

(単位:千円)

予算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	2,426				
国庫支出金	2,545				
都支出金	1,882				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	6,853	0	0	0	0

(単位:千円)

決算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	1,920				
国庫支出金	1,893				
都支出金	1,530				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	5,343	0	0	0	0

## 施策の評価(分析)

施策数値指標:住民提案型協働事業実施団体数について、増加していないことは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な事業が中止になっている事が一因である。今後はアフターコロナを見据えた下地づくりが重要となる。

4 重点施策			担当課	協働推進課
施策	1	協働型社会の推進	基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町における協働の在り方について協議等を行う瑞穂町協働のまちづくり推進委員会を2回(うち1回書面開催)開催し、コロナ禍での活動、情報共有等に努めた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度同様に瑞穂町協働のまちづくり推進委員会事業の協働フォーラムを中止としたが、庁舎1階ロビーでパネル展を実施し、来庁者に協働事業等を周知・啓発した。</li> <li>・地域の課題解決につながる協働事業の募集(協働事業提案)について、広報紙及びホームページで周知したが、新規提案はなかった。</li> <li>・コロナ禍で、町内会・自治会等の事業も中止になったため、地域との情報共有を図る職員地域情報コーディネーターの活動ができなかった。</li> <li>・各部署で行われている市民活動団体等との協働事業実施状況調査を実施し、現状把握に努めた。</li> </ul>		<p>コロナ禍でも情報収集に努め、計画していた事業の実施が難しかったことは理解できる。令和4年度からは長期総合計画にも記載があるように、道半ばである協働のまちづくりを実現するため、組織改編により、協働推進部が創設された。今後の事業展開、協働の推進に期待している。</p>	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

#### 5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	広聴活動の充実	秘書広報課	7	14	12
<p>事務事業の概要</p> <p>町政に対する意見・要望・提案などを聞き、住民の意見を町政に反映させることを目的としている「町長への手紙」と、町政に対する苦情・意見・要望などを把握し、町政に反映することを目的としている請願陳情に関する事務を行う。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	選挙啓発事務	総務課	6,846	5,329	3,473
<p>事務事業の概要</p> <p>選挙は国民が主権者として政治に参加する最も重要な機会であり、住民一人一人が選挙に関心を持つことが重要である。無関心層の政治・選挙に対する意識を取り戻すため、町や地域の行事等を通じて選挙の啓発を行い、選挙の大切さを訴える必要があるため、日ごろの啓発(常時啓発)と選挙時における啓発(選挙時啓発)に分けて、啓発を実施する。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	協働事業の推進と協働体制の整備	地域課	0	0	61
<p>事務事業の概要</p> <p>平成23年度からスタートした第4次長期総合計画では、「自立と協働」を基本理念と定め、令和3年度に策定された第5次長期総合計画では、「自立と協働」がまちづくりの根底に流れる姿勢として引き継がれた。新たな地域力を作り出すため、町に関する全ての人がまちづくりに参画できるよう、協働型社会の形成を目指していく。</p> <p>【まちづくりの根底に流れる姿勢】</p> <p>(1)当事者意識を持つ</p> <p>住民、企業・団体、行政等多様な主体が瑞穂町のまちづくりに関わる誇りを持ち、当事者として課題解決に向けた思いや意識を共有する。</p> <p>(2)意識を行動に</p> <p>身近な課題解決に向けて、誰もが活動の機会や出番があり、異なる強みを持つ主体が共通の目標のために、責任と役割を分担し、成果を共有する。</p>					
合計額			6,853	5,343	3,546